

第6学年創る科学習指導案

6年1組 指導者 西村光博
寺内 健

単元 「心の動かし方」を探ろう

1 本単元で創出、受容・評価される価値

問題解決的な学びにおいても活用可能な「心の動かし方」

2 本単元で育成される教科の枠を超えた資質・能力

認知的能力					非認知的能力	
言葉にする力	見極める力	捉える力	試行錯誤する力	開発する力	人とうまくやる力	おもしろいと感じる力

3 本単元で子どもが価値を創出、受容・評価していくために

本学級の子どもたちは、1年生のときからフリートークに取り組み、仲間の発言を共感的に聞いたり、自分の思いや考えを語ったりすることを楽しんでいる。このような子どもたちが、フリートークを行う際の「心の動かし方」について考える学習に取り組む。このことは、フリートークを行う際に自分たちが無自覚に行っている「心の動かし方」の価値を自覚し、他者の思いに寄り添い、他者と共に、考え、行動していこうとすることにつながるであろう。

本単元は、フリートークを行う際の「心の動かし方」の価値を見出し、その「心の動かし方」が活用可能な場面を考えていく学習である。子どもたちは、自分たちのフリートークを振り返る中で、「心の動かし方」の価値を見出していくであろう。その際、相手や目的に応じた「心の動かし方」を考えることを大切にしたい。そうすることで、価値についての考えを深めることができる考えたからである。

そこで、以下のような支援を具体化する。

- マシュマロテストを例に「心の動かし方」が知識として学習可能であることを示した上で、自分たちのフリートークを振り返る場を設ける。そうすることで、フリートークの際の言動の裏にある「心の動かし方」についても目を向けることができるようにする。
- どの時間も「心の動かし方」と自分のよりよい未来の姿とのつながりが分かるように板書する。そうすることで、「心の動かし方」について考えることの意義を意識しながら話し合うことができるようにする。
- 自分にとって、どの「心の動かし方」を実行してみたいか問う。そうすることで、仲間の考えを参考に「心の動かし方」について見直したり、自分なりにアレンジしたりして考えることができるようにする。

4 本単元の目標

- フリートークを行う際の「心の動かし方」の価値を見出し、その「心の動かし方」が活用可能な場面を考えることができるようにする。
- 無自覚に行っている「心の動かし方」の価値を自覚し、よりよい未来を求めて、考え、行動することができるようにする。

5 本単元における評価規準

知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
○フリートークを行う際の「心の動かし方」の価値に気付いている。	○見出した価値ある「心の動かし方」がどのような場面で有効なのか考えている。	○自分にとって価値があると感じた「心の動かし方」を使っていこうとしている。

6 指導計画（全5時間）

第1次 学習の見通しをもつ（1時間）

第2次 フリートークを行う際の「心の動かし方」について考える（2時間）

第3次 「心の動かし方」の活用場面について考える（2時間）【本時1／2】

7 本時案 【平成31年 1月25日 13:55~14:40 6年1組教室】

(1) ねらい 英語のフリートークを行う際の「心の動かし方」について考えることをとおして、話し合う際の「心の動かし方」について自分なりの考えをもつことができるようにする。

(2) 学習過程 ※下線は価値を創出、受容・評価している子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
<p>1 「心の動かし方」を意識して、英語のフリートークを行う。(15分)</p> <p>2 英語のフリートークを振り返り「心の動かし方」について話し合う。(15分)</p>	<p>A フリートークの時に有効な「心の動かし方」は、英語のフリートークでも使えるのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語でも誰と誰が同じような考えをもっているのか考えながら聞くぞ。 ・○君と□さんの考えがつながっていたよ。 <p>A 英語を聞き取ろうと必死で「心の動かし方」を考えながら聞くのは難しかったよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それに、日本語のフリートークとは違っておたずねが多かったよ。 	<p>○前時までに出了た「心の動かし方」を含む子どもの発言をベン図にまとめていく。そうすることで、英語と日本語のフリートークの相違点や共通点をもとに「心の動かし方」を考えることができるようにする。</p>
<p>・英語のフリートークを行う際の「心の動かし方」</p>	<p>たしかに、おたずねが多いよね。先生は□さんのおたずねに心が動いたよ。どんな「心の動かし方」をして、おたずねしたのかな。</p> <p>B 自分と比べながら話を聞いたら、おたずねを思い付いたのではないかな。</p> <p>□話している人の言いたいことを分かろうとしたら、おたずねがしなくなったよ。</p> <p>●□さんがおたずねしてくれたから、話したいことを話すことができたよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・●君が話しやすくなるおたずねだったから ●君の考えがより詳しく分かったね。 <p>・たしかに。おたずねをしてくれたから、私も●君のことが分かってきたよ。</p> <p>A 僕は、相手が話したいことは何かを考えながら聞いて、おたずねを考えてみるよ。</p>	<p>○質問をした人、質問をされた人、聞いていた周りの人の気持ちを問うた上で、自分がしてみたい「心の動かし方」を考えるよう促す。そうすることで、おたずねをすることの効果をもまえ自分に合った「心の動かし方」を考えることができるようにする。</p>
<p>3 他の場面でも使えるような「心の動かし方」について話し合う。(15分)</p> <p>・話し合う際の「心の動かし方」</p>	<p>自分と比べたり相手が話したいことを想像したりしながら聞くとおたずねを思いつくだね。日本語でも、その「心の動かし方」は使いそう？</p> <p>A 日本語なら、もっと相手のことを考えたおたずねができると思うよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰と誰の考えが似ているか、どこが違うか <p><u>比べながら聞くと、国語や算数でもおたずねができそうだよ。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・たしかに他の教科でもおたずねができたら、その人の考えがよく分かるよ。 ・妥当な考えを求めて話し合う国語の時間にも使いそうな「心の動かし方」だな。 <p>B 自分と比べたり、仲間の意見とつなげたりして、おもしろがって話を聞ければ、自分とは違う考えも受け入れられそうだよ。</p> <p>A 国語や算数の時間に、相手の考えがさらに分かるようなおたずねをしてみたいな。</p>	<p>○フリートークと各教科の学習は、話し合いの目的が異なることを確認した上で「心の動かし方」について考えるように促す。そうすることで、問題解決的な学習の具体的な場面を想像しながら、話し合うことができるようにする。</p>